

民営化「こども園」へ

草津市 公的保育全廃へ道開く

3月29日に開催された議員全員協議会。公立の大路幼稚園、同第6保育所について「認定こども園」へ幼保一体化し、しかも施設整備も運営も民間へ売り渡すなど、公的保育全廃へと道を開くとんでもない計画が発表されました。

公的保育は拠点施設として民間とも役割分担、公でなければできない取り組みや、給食などを含め保育の質向上へ大きな役割を果たしてきました。このことは過去の市公立保育所運営検討委員

会場の場などでも議論されてきたことです。しかし今回、議会へ示された資料には、公的保育の果たしてきた歴史や役割についての記載は一切なく、保育施設の整備・運営に国県の補助がないことや、民間の一時預かり、休日保育などの取組みをあげて、民営化を持ち上げていきます。

しかし子どもを中心に考えれば民設・公設にかかわらず、国県は財政負担をすべきです。国の政策は明らかに間違っているのではないのでしょうか。

説明された計画の概要は以下の通りです。

- ① 移転候補地
大路2丁目 旧西友跡地の一部(約3000㎡)
- ② 定員200名程度
・短時間利用(幼稚園に該当)70人程度
・長時間利用枠(保育所に該当)130人程度
- ③ 整備スケジュール
・4～6月 地元や保護者への説明
・7～9月 事業者の公募
・11月までに事業者決定
・平成29年4月より建設工事および「移行保育」
・平成30年4月開園



大路幼稚園

写真は市ホームページより



第6保育所

平成28年度人事異動

橋川市政 3 期目のスタートとなる平成 28 年度の人事異動が発表されました。

- ◆異動規模
実異動率 25.6%(前年度 24.0%)
- ◆実質異動者 196 人
- ◆管理職に占める女性職員の割合
28.8%(前年度 25.5%)

草津市が示した「議会説明資料」から

(8)整備運営主体の効果等の比較

	①公設公営	効果等の比較	②民設民営
保育の質	○	=	○
保育の内容	平準性や規範性が高い	←→	保育理念に基づく多様な保育
施設の内容	平準性や規範性が高い	←→	保育内容に応じた多様な施設内容
利用児童数(保育所)	632人(22%)	大半が民間に在籍	2,206人(78%)
利用児童数(幼稚園)	773人(51%)	割合はほぼ同じ	735人(49%)
多様な機能等	×	<	○ (一時預かり、休日保育、その他独自の事業) ※市内私立の実施状況 在園児以外の一時的預かり 6園 休日保育 1園
整備コスト	× (高) : 国県補助なし ※全て市税	<	○ (低) : 国県補助あり ※市税負担は低い
運営コスト(保育料を除く)	× (高) : 国県負担なし ※全て市税	<	○ (低) : 国県負担あり ※市税負担は低い

この論理では草津市のすべての公立幼稚園・保育所が民間へ移行？

公的保育の役割・歴史にまったく触れず

「お金がかかる」と言
って公立保育所を作
らなかったのは誰？

必要な事業は公立で
も実施すれば？
行政が運営主体です

子どもを第一に考え
たら、公設でも民設
でも補助すべき。
国の政策は間違っ
ています。



久保あきお市議
草津市青地町 975-9
077-567-8604

<http://kusatu.jcp-web.net/>



藤井みえ子市議
草津市南山田 468-2
077-562-9822



安里まさし市議
草津市矢橋町 7-102
077-564-1201